



読書山梨

Yamanashi Prefectural Library

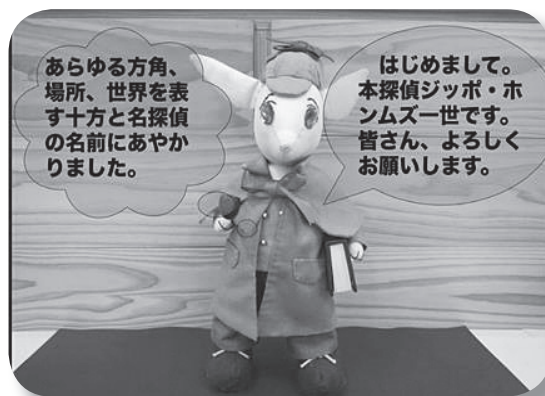


ピックアップ県立図書館

Twitter・Facebook

県立図書館では、平成28年11月18日より、Twitter・Facebookによる情報発信を開始しました。図書館からのお知らせ、図書館主催・共催で行われる展示・イベント・研修会等の情報、新着図書の紹介、発行物の紹介、ホームページ更新状況等の最新情報を発信しています。TwitterとFacebookは、連携していますので、TwitterのつぶやきをFacebookで詳しく見ることもできます。また、当館のイメージキャラクターのジッポ・ホンムズー世が「図書館探偵ジッポがゆく！」と題して、知っているようで知らない施設の利用方法や図書館活用術をご案内します。不定期での掲載ですが、楽しみにしてください。

「図書館の今」を知りたい方は、是非、Twitter・Facebookをご覧ください。多くの皆様のフォローと「いいね」をお待ちしています。



Information

イベント案内

- 「おんがくかいぶらりIX」モーツアルト・アンサンブル・オーケストラ 12月23日(出)
- 「山梨芸術文化協会新春朗読会」 1月7日(日)
- 「来ぶらり寄席」 3月3日(土)

編集後記

将棋の最年少プロ棋士、藤井聡太四段の活躍に感化され、将棋に興味を持ち始めたり、チャレンジした方も多いのではないのでしょうか。

最近はそのような刺激を与えてくれる若者の活躍が多くみられます。もし、なにかやってみたいことが見つかったら是非県立図書館に足を運んでみてください。きっと良いヒントが得られますよ。皆様のご来館を心よりお待ちしております。 (企画振興担当 長久保 秀美)



山梨県立図書館職員が選ぶ こんな時、この一冊

「あなたの大切な人に本を贈ってみませんか」をテーマに読書活動を進める「やまなし読書活動推進事業」の一環として、県立図書館の職員がおすすめの本を紹介しています。ここでは、その一冊をご紹介します。

～最近、ひたむきさが足りないなど
感じた時に～

『文房具図鑑 その文具のいい所から悪い所まで最強解説』(山本 健太郎/絵・文 いろは出版)

小学6年生の男の子が約1年かけて書いた、この文房具図鑑。ページをめくると、そこには文房具への愛情と情熱がぎっしり。その愛情と情熱が、家族に、友達に、文具屋さんに、文具メーカーに、出版社に伝わって、1冊の本になった。何かに夢中になることの素晴らしさ、そして人を動かすほどのひたむきさ。見習いたいものだ。



阿刀田 高館長よりご挨拶

本屋さんのある風景

町の本屋さんが次々にシャッターを閉じているらしい。あなたの町はどうだろうか。

駅前通りがある。商店が両側に立ち並んでいる。その中にたいてい一軒か二軒、本屋さんがあった。これがいつかの町の風景だった。

東京に暮らしていると、周辺に地方からの出身者がたくさんいる。私も新潟県の長岡市で少年時代を送ったから、町の本屋さんの記憶は鮮明だ。そして同じ町の出身者に出会うと、

「山田書店だろ。よく行ったよ。たまには本も買ったけど、買うのとはべつに新しい雑誌とか漫画とか、よく立ち読みしたよな。あんまり長く読んできると眼鏡をかけた親父さんがにらむんだ」

「そう。人と待ち合わせるときにも、よく行ったな」

考えてみると、そば屋へ行ってなにも食べない客はいない。文具店へ行ってなにも買わない客は珍しい。町の本屋さんはそれを許してくれる文化施設でもあった。その町で育った多くの脳みそがそこになじみ、世話になった。その景色が、習慣が、消えていく。それでよいのか。みんなが町の知性を保持するため、心を配るべき事態ではあるまいか。



事業報告

音楽

『おんがくかいぶらり12』

7月29日(土)、2階多目的ホールにて「おんがくかいぶらり12 雨宮洋子箏の調べ」を開催しました。山梨県邦楽界の重鎮である雨宮洋子氏の箏と、モーツアルトアンサンブルオーケストラ指揮者を務める藤原義章氏のビオラ・ダモーレの演奏をお楽しみいただきました。ご来場の方からは、「和楽器と洋楽器の共演、素晴らしかったです」とのお声が寄せられました。会場入り口では、箏や邦楽、コンサートに関する図書の展示も行いました。



山梨県立図書館報

読書山梨142号

発行日 平成29年11月1日

発行：山梨県立図書館(かいぶらり)

〒400-0024 甲府市北口2丁目8番1号

TEL:055-255-1040(代表) 055-255-1041(施設予約) FAX:055-255-1042

URL: <http://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

E-mail: ken-tosho@lib.pref.yamanashi.jp

講演会

島田雅彦氏講演会

6月18日(日)、「やまなし読書活動促進事業」として小説家島田雅彦氏講演会を開催しました。「百年の憂鬱 近代文学とカオス」と題し、島田氏は大岡昇平の『野火』を取り上げ、「観察力や好奇心、知性がある人は、慣れない環境でも生き残ることができる」と話され、近著の『カタストロフ マニア』の内容にも触れられました。「文学や芸術には人の在り方を共有する役割がある。その蓄積は、人が追い詰められた時に生きる」と語られ、極限状態で生き抜くには文学や芸術への感性が必要であると話されました。続く阿刀田館長とのトークショーでは、島田氏は「誰にでも分かりやすい言葉で書かれた小説は、知の宝庫だ」と強調されました。自然災害や極限状態にある社会では、本や図書館など、知識は必要となることを、水や火を手に入れることなどを例えに話されました。阿刀田館長は「本を読むことが好奇心を育む。子どもたちに本を贈ってほしい」と呼び掛けました。これからも「館長企画事業」として魅力的な企画をご案内して参ります。どうぞご期待ください。

体験
イベント甲州事編 百科涼覧
2017甲府ウィキペディア エディタソン

7月23日(日)「甲州事編 百科涼覧 2017甲府ウィキペディア エディタソン」を開催しました。都留文科大学の日向良和先生を中心に、ウィキペディアの編集に携わる方々により、当図書館の資料をふんだんに活用しながら、客観的な表現、資料の扱い方、高度なコンピュータ処理や手続きなど、資料整理とまとめを実践しました。

2つのテーマのもとに分かれて現地調査、編集に進み、レファレンスサービスを活用しながら、この山梨県立図書館のこの日から、新しいウィキペディアのページが2項目、発信されたのでした。ウィキペディアの「謝恩碑(甲府市)」と「山梨県庁舎別館(旧本館)及び県議会議事堂」をご検索ください。

交流
イベントことばのひろば フランスチャチャチャ！
日本チャチャチャ！

協力員の新井玲子さんプロデュースにより、国際交流イベントを年5回開催しています。5月20日(土)は「ことばのひろば フランスチャチャチャ！ 日本チャチャチャ！」と題して、フランスリヨンご出身のオリヴィアさん(山梨大学生命環境学部留学生)を講師にお迎えしました。キュートでありのままのオリヴィアさんから、フランスやフランスの文化、リヨンのことや食べ物、言葉を紹介していただき、参加者全員で楽しみました。

資料展示
報告

資料展示報告

- 1 「アレルギーとつきあうために」 【3月17日～5月21日】
- 2 「甲斐の虎対越後の龍」 【3月17日～5月14日】
- 3 「作家山本周五郎」 【5月19日～7月17日】
- 4 「働きかたを考える 一人ひとりが輝くために」 【5月26日～7月23日】
- 5 「早川徳治と地下鉄」 【7月21日～10月1日】



やまなし読書人

穂坂 由美子さん(山梨県立図書館協力会 代読サービス分野)

「情報が知識となり、やがて智恵となる」井上ひさしさんの言葉と聞きました。情報社会と言われる現代、私たちは情報の80%を視覚から得ているそうです。本や新聞雑誌等活字を読むのが困難な方のために提供されるのが代読サービスです。現在金曜午後に行っていて継続して利用されています。

サービス開始に向けて旧図書館時代から研修が始まり、活字を正確に音声化する事を目標に、協力員は毎月研修を行っています。代読の前に、地名人名、難読漢字の読みや意味等下調べをします。辞書、ネットが拠り所です。「家」は「うち」いや「いえ」かしら？簡単な字に悩みます。勿論、発音、アクセント、抑揚等音声化の技術にも気を配ります。活動を続ける事で、リクエストされた本をじっくりと読み、これまで経験することのなかった「新しい読書の世界」へと目が開かれる機会を得ました。代読後お礼の言葉を頂きますが、こちらこそ、ご利用に感謝を申し上げたいと思います。